

## 令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人

まちづくり機構ユマニテさが

### 1 事業の成果

中心市街地整備推進機構として発足以来、当法人の基本方針としている

- (1) 住む人を増やす (2) 来る人を増やす (3) まちづくりに参画する人を増やす  
(4) 活動の強化、に沿って事業を実施した。

「住む人を増やす」については、以前実施していた「さがよかこの家」のようなシェアハウス事業等は現在行っていないが、街なかに点在する遊休不動産の中で、特に「空き家」に着目し、その実態や分布を把握するために「空き家調査」を実施した。

次に「来る人を増やす」の「賑わいづくりイベント」は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止の動きに伴い、中止もしくは計画変更となったイベントがあり所期の計画を実施することはできなかった。しかしそのような状況下でも新型コロナ対策をしっかりと行うことで、令和2年度より多くのイベントを開催することができた。「施設管理」に関しては、催事回数は回復しつつあるものの、大規模イベントが少ないため、来場者数の回復には程遠い。

「まちづくりに参画する人を増やす」については、イベントにおける大学生の参画、佐賀玉屋や街なかのイベント会場における学生チャレンジショップ事業、空き店舗見学会など遊休不動産を活用して新たな街のプレイヤーを増やす動きなどが加速した。

「活動の強化」については、事業のスクラップ&ビルドが多少進展した。

令和3年度は、計画実施上、意識しておくべきポイントとして、以下の3項目を挙げている。

- ① 人と人との絆づくり（共助の強化、関係人口の増加）
  - ・市民が語り合う、或いは相談し合うような場を街なかに作っていく
  - ・街の真ん中にコミュニケーションを活発にする仕掛けをする
  - ・佐賀の歴史、文化、農産物を発信し、地域の絆を強めると共に、他地域の人々が興味関心をもってくれるような仕掛けをする。
- ② 中心市街地が生活の場となり、そこで消費活動が行なわれる状況の創出
  - ・不足業種を洗い出し、日常生活に必要なものの購入ができる拠点の創出。
  - ・「地消地産」で売上げ見通しの立つ事業で新規創業を支援する。
- ③ 強い店舗の育成
  - ・SDGsへの取組みを志向するような事業者との機能的な連携。
  - ・イベントを実施する際に「売れる店づくり」とセットで行う。

上記の中で、

- ①についてはコロナ禍においても一定の成果を残すことができた。
- ②についてはコロナ禍での消費活動の自粛もあり、大きな進展はできなかった。
- ③については、街なか出店伴走支援事業や情報発信事業、中心市街地店舗のイベントへの参加など、一定の経営支援は達成できたが、「育成」というレベルにはまだ到達できていない。

## 2 事業の実施に関する事項

### 特定非営利活動に係る事業

- ①中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業
- ②中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業
- ③良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業
- ④中心市街地の整備改善に関する調査研究事業
- ⑤中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業
- ⑥中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業
- ⑦中心市街地公共空地の管理事業
- ⑧中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業
- ⑨中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及び譲渡事業
- ⑩中心市街地の商業の充実を図るために事業
- ⑪中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業
- ⑫その他第3条の目的に達成するために必要な事業

### その他の事業

- ①駐車場業
- ②不動産仲介業

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (千円)
① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業	<b>街なかかわらばん発行事業</b> 年に6回隔月に発行。市民ライターを起用し、新しい切り口で街なか情報や人の動き、物件情報等を広く知らしめることにより、中心市街地に対する市民の関心を醸成し、街なかへの来訪を促した。発行部数は10,000。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 中心市街地に関わる者 (E) 不特定多数	2,359

	<b>ホームページ運営事業</b> 昨年に引き続き、ホームページ上のフェイスブック表示に対し、細かなフォローを実施した。また、街なかかわら版との連携を強化し、アクセス数の向上に努めた。	(A) 通年 (B) 当法人事務所 (C) 1人	(D) 全国のインターネット利用者 (E) 不特定多数	2,474
	<b>電波媒体による情報発信</b> ぶんぶん TV の「街なか情報」出演や FM 佐賀にイベント情報の告知を依頼する等、広報活動を行った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 佐賀市。コミュニティFMは旧市街地・小城地区 (E) 不特定多数	137
	<b>駅前時計台垂れ幕</b>	(A) 通年 (B) 駅前 (C) 1人	(D) 中心市街地に関わる者 (E) 不特定多数	1,834
	① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業		(事業費合計)	6,804
② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業	<b>街なか遊休不動産活用促進事業</b> 空き家等マッチング支援事業を統合し令和2年度新規実施。遊休不動産の所有者に対し、その活用に対する意識啓発を図り、その活用促進を行う。 事業者からの相談受付、支援体制の構築、運営等、遊休不動産の発掘・案内等、支援制度にかかる広報・啓発	(A) 通年 ①セミナー：令和3年11月16日 ②空き店舗見学会：3回目令和3年5月25日、4回目令和3年7月27日、5回目令和3年9月28日、6回目令和3年11月24日、7回目令和4年2月14日 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 物件所有者 (E) ③11人、④9人、⑤6人、⑥6人、⑦17人	2,520
	<b>わいわい!!コンテナ2管理運営事業</b> 「わいわい!!コンテナ2」を「新陳代謝を図る」「商店街の回遊性に寄与する取り組みを強化する」拠点施設として確立させることを目標に業務に取り組んだ。1つ目の重点ポイントに関しては、定期開催の2つのマルシェイベントを通じて、新規出店者を招くことができ、成果を挙げることがで	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) コンテナ来場者 (E) 39,001人	11,468

	きた。2つ目の重点ポイントに関しては、呉服元町の若い店主と連携し、スタンプラリー企画や656広場とわいわい！！コンテナ2でのイベント同時開催など、回遊性向上に貢献できた。			
	<b>まちなか交流広場管理事業</b> 街なか交流広場(656広場)の指定管理者として施設を管理し、イベント開催等活動促進を図った。新型コロナの影響で、実質的に利用者数が減少する状況が続いた。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) 広場の利用者及び観客 (E) 12,797人	3,647
	<b>街なか産学官連携支援事業</b> 「ゆつつら〜と館」の管理の他、「大学生・高校生 SBP 事業」や「学生チャレンジマルシェ事業」を通して大学生や高校生の地域貢献を支援した。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) 市民 (E) 不特定多数	2,077
	<b>佐賀商工ビル管理事業</b> 佐賀商工ビルの運営管理をユマニテさがスタッフが一部担うことにより、街づくりの連携強化を図った。	(A) 通年 (B) 白山二丁目 (C) 1人	(D) 市民 (E) 不特定多数	3,306
	② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業			23,018
③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業	<b>共通駐車サービス券事業</b> 中心市街地内の29か所の駐車場と契約し、サービス券登録の商店で買物した客の駐車利便性を向上させる事業。	(A) 通年 (B) 中心市街地 (C) 2人	(D) サービス券利用登録店舗での利用客 (E) 不特定多数	2,017
	③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業			2,017
④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業	<b>未実施</b>			
	④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業			
⑤ 中心市街地の歴史、伝統、	<b>バルーンフェスタサテライトイベント</b> 新型コロナの影響でインターナ	(A) 令和3年11月3日～11月7日 (B) 656広場、新馬	(D) 来場者 (E) 3,539人	685

文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業	シヨナル・バルーンフェスタは無観客開催となったが、街なかのサテライトイベントは多数開催された。	場通り芝生広場 (C) 2人		
	<b>BOOK マルシェさが事業</b> 本を媒介にした人と人の出会い、本の楽しさ面白さを発見することによる文化の底上げを図った。 1日のみの開催、古本市出店者を県内限定とせず令和2年度を上回る出店者を集めた、シアター・シエマと656広場をオンラインでつないだトークショー実施するなどやり方改善を図った	(A) 令和3年10月3日 (B) 呉服元町 (C) 5人	(D) 出店者・来店者 (E) 不特定多数	2,269
	<b>ほとめきぶらり旅事業</b> 新型コロナの影響で次年度へ延期した。	(A) 次年度へ延期 (B) 次年度へ延期 (C) 次年度へ延期	(D) 次年度へ延期 (E) 次年度へ延期	0
	<b>佐賀城下ひなまつり賑わいづくりイベント</b> 佐賀城下ひなまつり本体は中止となり、2月に開催予定であった実行委員会主催の一部のイベントが中止となったが、3月以降は多くのイベントが新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと行った上で開催した。	(A) 令和4年3月19日～3月21日 (B) 呉服元町、白山ほか中心市街地 (C) 2人	(D) 来訪者 (E) 794人	3,622
	⑤ 中心市街地の歴史伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業			6,576
⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業	<b>未実施</b>			
	⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業			
⑦ 中心市街地公共空地等の管理事業	<b>松原参道管理事業</b> 松原神社門前の南北に広がる空地を街づくりに貢献する賑わいの広場として、景観上及び安全性確保の観点から芝生広場として管理運営している。	(A) 通年 (B) 松原神社鳥居に隣接する新馬場通りの南側及び北側 (C) 5人	(D) 市民 (E) 不特定多数	685

	<b>街なか緑地広場管理業務</b> 旧コンテナ1撤去後の広場の施設管理とイベント企画を担当している。	(A) 通年 (B) 松原二丁目 (C) 1人	(D) 地域住民及び 緑地利用者 (E) 不特定多数	945
	⑦ 中心市街地公共空地等の管理事業			1,630
⑧ 中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業	未実施			
	⑧ 中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業			
⑨ 中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡事業	未実施			
	⑨ 中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡事業			
⑩ 中心市街地の商業の充実を図るための事業	<b>得するまのゼミナール</b> 商業者が講師となって、専門知識やプロならではのコツ等を無料で提供する少人数制の講座。商店と消費者のコミュニケーションの質向上を狙ったゼミ。通算7回を数える。	(A) 【第5回】 初回説明会: 令和3年6月30日、第2回説明会: 令和3年7月28日、直前説明会: 令和3年9月6日、ゼミ開催: 令和3年9月27日～10月26日 結果報告会: 令和3年12月10日 (B) 佐賀商工ビル、中心市街地 (C) 2人	(D) 地域住民及び 来街者 (E) 不特定多数	2,306
	<b>エスプラッツ誕生祭</b> 栄の国まつりの開催に合わせて、エスプラッツビルの再開を記念して実施している恒例イベント。令和3年度は栄の国まつり本体が新型コロナウイルスの影響で中止となり、エスプラッツ誕生祭も中止となった。	(A) 中止 (B) 中止 (C) 中止	(D) 中止 (E) 中止	0

	<p><b>第14回桶の杜手づくり市事業</b>          全国の手づくり作家が集まる手づくりアートフェスタ。新型コロナウイルス感染予防を行いながらの実施となった。多くの来場者が訪れ買物を楽しんだ。出店者からも開催に対する謝意が多く寄せられた。</p>	<p>(A) 令和4年3月5日、6日          (B) 八幡神社境内          (C) 7人</p>	<p>(D) 出店者、来訪者          (E) 2,342人</p>	<p>3,000</p>
	<p><b>公募型空き店舗対策事業</b>          年間を通して出店者を募集し、審査を行い、合格者に対して一部改装費補助を行う事業。本年は2店舗が合格、出店した。</p>	<p>(A) 通年          (B) 中心市街地内          (C) 2人</p>	<p>(D) 中心市街地で出店を希望する者          (E) 不特定多数（審査の結果出店に至った者2店舗）</p>	<p>12,259</p>
	<p><b>街なか出店伴走支援事業</b>          令和3年度スタートした商店主向けのスタートアップ支援事業。中心市街地の空き店舗で商売を実践しながら毎月の経営支援プログラムを受講させ独り立ちを支援する。令和3年度は8月に1名が応募、審査後合格、令和4年3月にプログラムを終了した。</p>	<p>(A) 通年          (B) 佐賀市成章町          (C) 2人</p>	<p>(D) 県内外の新規起業を志す未経験又は経験の浅い商業者          (E) 出店者1店舗</p>	<p>3,170</p>
	<p><b>佐賀市街なかバル事業</b>          中心市街地の飲食店の食べ歩き・飲み歩きイベント。参加店の新規開拓に寄与するとともに、街なかの活性化を進めることが狙い。三密を避ける必要性から、本年は開催期間を1ヶ月間に拡大した。チケット制をやめパスポート制に切り替え現金売り上げに貢献した。</p>	<p>(A) 令和3年10月15日～11月14日          (B) 中心市街地内          (C) 6人</p>	<p>(D) 市民          (E) パスポート販売冊数 838冊</p>	<p>927</p>
	<p><b>銀天夜市協賛事業</b>          55回目を数える商店街の恒例イベント。主に656広場で実施するイベントの企画実施を担当してきたが、栄の国まつりの中止に伴い、夏の開催は中止。</p>	<p>(A) 令和4年3月13日          (B) 656広場          (C) 2人</p>	<p>(D) 市民          (E) 不特定多数</p>	<p>0</p>
	<p><b>えびすビアパーティー</b>          新型コロナの影響で11月に事前予約制、限定100席で開催した。</p>	<p>(A) 令和3年11月10日          (B) 656広場          (C) 2人</p>	<p>(D) 市民          (E) チケット販売冊数 112冊</p>	<p>685</p>

	<p><b>中央大通り賑わい創出事業</b>  中央大通りエリアの日常のかつ  継続的な賑わいの創出を目的に  通り沿いの企業にイベントを公募。  5つの事業所で合計7つのイベン  トを実施した。</p>	<p>① 「SAGA IPPIN  GRAND=PRIX」  (A)令和3年11  月14  日  (B)唐人町緑道広  場  (C)実行委員会</p> <p>② 「富永寛之×工  藤精 the DUET ウ  クレレコンサート」  (A)令和4年1月  10日  (B)佐賀バルーンミ  ュージウム1階  (C)有限会社ビー  シャッフル</p> <p>③ ストリート音楽  祭  (A)令和3年11月  2日～令和4年1  月8日  (B)唐人町各所  (C)唐人町商店街  振興組合</p> <p>④ 青空eスポーツ  大会  (A)令和3年11月  7日  (B)唐人町緑道広  場  (C)株From 1 to 1</p> <p>⑤ クリスマス撮影  会  (A)令和3年12月  18日  (B)エッジ国際美容  専門学校及び唐人  緑道広場  (C) エッジ国際美容  専門学校</p> <p>⑥開運占い&amp;ネイ  リスト体験会  (A)令和4年1月  15日  (B)エッジ国際美容  専門学校及び唐人  緑道広場  (C) エッジ国際美容  専門学校</p> <p>⑦唐人スイーツマル</p>	<p>(D) 市民  (E) 参加者 976人</p>	<p>3,234</p>
--	--	--	---------------------------------	--------------

		<p>シェ</p> <p>(A)令和4年3月12日</p> <p>(B)エッジ国際美容専門学校及び唐人緑道広場</p> <p>(C) エッジ国際美容専門学校</p>		
	<p>学生チャレンジマルシェ事業</p> <p>佐賀県内の実業高校・大学で開発・生産した商品を佐賀玉屋1階オープンスペース、cosa,エスプラッツ、白山アーケードで販売。学生に実践経験を積んでもらい、同時に市街地への親しみを醸成。短時間で商品を完売するケースが続出した。</p>	<p>(A)令和3年4月24日～令和4年3月21日</p> <p>(B)佐賀玉屋1階オープンスペース、佐賀玉屋6階催事会場、cosa,エスプラッツ、白山アーケード</p> <p>(C)2人</p>	<p>(D) 県内高校5校＋佐賀大学、延べ13日間</p> <p>(E) 未計測</p>	736
	<p>大学生・高校生 SBP</p> <p>高志館高校でクラブメンバーが集まりオリジナルデザインの「たい焼き機」を製作し、日峯さん朝市や中心市街地内で開催されるイベントに出店し高志館 SBP 活動の PR を図った。</p>	<p>(A)令和3年4月25日～令和3年12月25日(延べ4日間)</p> <p>(B)中心市街地内イベント会場</p> <p>(C)10人</p>	<p>(D) 市民</p> <p>(E) 未計測</p>	778
	<p>商業高校マルシェ</p> <p>県内の商業高校4校が一堂に会して行った販売会。地域の特産品を活かして高校生が開発した商品や地元のおすすめ商品等を販売した。</p>	<p>(A)令和3年12月17日,18日</p> <p>(B)佐賀銀行兵庫支店オープンスペース</p> <p>(C)2人</p>	<p>(D)市民</p> <p>(E)未計測</p>	439
	⑩中心市街地の商業の充実を図るための事業			27,534
⑪ 中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助	<p><b>古賀ビル管理事業</b></p> <p>佐賀県が進める「地方創生事業」の一環として「デジタル・ハリウッド」がオープンした。当法人はオーナーから物件を借り、転貸を実施している。</p>	<p>(A) 通年</p> <p>(B) 中心市街地内</p> <p>(C) 2人</p>	<p>(D) 中心市街地に 出店を考える 事業者及び 建物所有者</p> <p>(E) IT 技術を 習得したい 不特定多数</p>	2,137
	⑪ 中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又			2,137

事業	は援助事業			
⑫その他第3条の目的を達成するために必要な事業	<b>のまん伍太事業</b> 飲料水の街づくり支援自動販売機を設置し、来街者の利便性向上を図った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 市民 (E) 不特定多数の 購買者	586
	<b>本部会計事務費</b> 人件費や租税公課、交際費等NPOの活動に必要な補助的経費の管理。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 市民 (E) 不特定多数	34
	⑫その他第3条の目的を達成するために必要な事業			620

## (2)その他の事業

事業名 (定款に記載した 事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	支出額(千 円)
① 駐車場業	<b>えびす駐車場事業</b> 駐車場を運営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を特定非営利活動費に充当する	(A) 通年 (B) 松原一丁目 (C) 2人	15,669
	<b>佐野駐車場事業</b> 駐車場を運営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を特定非営利活動費に充当する	(A) 通年 (B) 松原二丁目 (C) 1人	1,271
	① 駐車場業		16,940
② 不動産仲介 事業	未実施		